

# パートナードッグ & キャットプログラム アドバイザーボード

2020年12月24日 15:00~17:00 第1回

# アドバイザー依頼に関してのご確認とお願い

- 本取り組みは、後程ご説明いたします、パートナードッグ & キャットプログラムに対して、アドバイザーとして専門家の皆様からご意見・ご助言をいただきたく、同プログラムに対するご発言をお願いいたします。
- また、弊社としましては、同プログラムの取り組みについて、社会の皆様にご理解、ご納得をいただけるよう、本委員会を開催した旨および議論の内容等を、弊社ホームページにて適宜、情報公開、報告を行うことを予定しております。
- つきましては、本委員会における議論の内容等について、守秘義務の範囲とさせていただきますことにご理解のほどよろしくお願いいたします。

# 第1回の目的と進め方

## <目的>

- 本プログラムに関する基盤情報の共有と論点抽出
- 基本姿勢と実施経費の考え方の整理

## <進め方>

- 自己紹介
- 情報提供
- アドバイザリーボードの会議について
- 議題1:本プログラム全体に対する期待と懸念
- 議題2:基本姿勢と実施経費に関するご意見、ご助言

# 自己紹介(おひとり1分程度で)

- お名前
- ご所属
- 今日の場に期待すること

# 株式会社AHBの事業と パートナードッグ & キャットプログラム 現在の方向性について

株式会社AHB 取締役 営業本部長 長谷川龍太

# 株式会社AHB - 理念

## 「動物と人間の共生」

私たちAHBは「動物と人間の幸せな共生社会に貢献すること」をミッションに、ペットショップ「ペットプラス」を全国に展開している企業です。社名のAHBは、Animal Human Bondの頭文字をとって命名したものです。人とコンパニオンアニマル（CA）のより良い関係を構築し、お客様に幸せなペットライフをお届けすることを目指しています。

# 株式会社AHB - 事業内容

## ペットショップ

「Pet Plus」「Cat Plus」  
全国に117店舗を展開  
ワンちゃん・ネコちゃんとの  
出会いをお届け



## トリミングサロン

トリミングサロンを併設  
全国に11店舗を展開  
最高のサービスでペットライフをサポート  
2020年3月、初の単独サロンをオープン



## ワンちゃんのための複合施設

「AHBASE」  
2018年、両国にオープン  
もっとワンちゃんと仲良くなる  
「キッカケに出会える」ドッグパーク



# 株式会社AHB - 事業内容

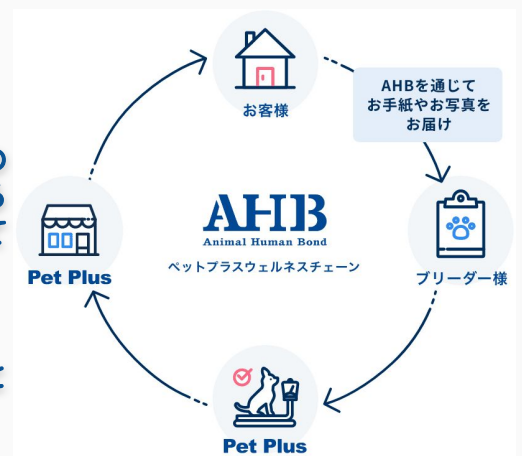
## ウェルネスセンター & クリニック

ワンちゃん・ネコちゃんの  
検査、健康管理を行う施設  
全国に6箇所のセンターを設置  
国内ペット業界初のISO9001認証を取得  
2020年9月、ペットプラス動物病院を開院



AHBの大きな特徴は…

「優良なペットを提供する」ための組織や体制が確立されていることです。  
当社では全国にウェルネスセンターを設置し、お取引先様との取引によるトレーサビリティの高いペットのみを受け入れ、専属獣医師による健康診断を実施したうえでお客様にご提供しています。  
またお客様にお引渡しする前のペットに社会順応のためのトレーニングを実施したり、お引渡し後のフォローにも力を注ぎ、お客様とペットのより幸福な生活を実現するための取り組みを行っています。





# 株式会社AHB - 事業内容

## 動物と人間の幸せな共生生活への貢献活動

### 保護犬の避妊・去勢

当社は身寄りのない、不幸なCAを減らすために志を同じくする動物愛護団体（NPO等）と提携し、里親募集、保護犬の去勢・避妊等の活動を行っております。また、新たな飼い主様に対しては動愛法（「動物の愛護及び管理に関する法律」）の精神に則り、「終生飼養」をお約束いただき、ワンちゃん、ネコちゃんの生涯にわたるサポートを実施しています。

### 愛護活動への賛同（フード、ペットシーツ等の無償提供等）

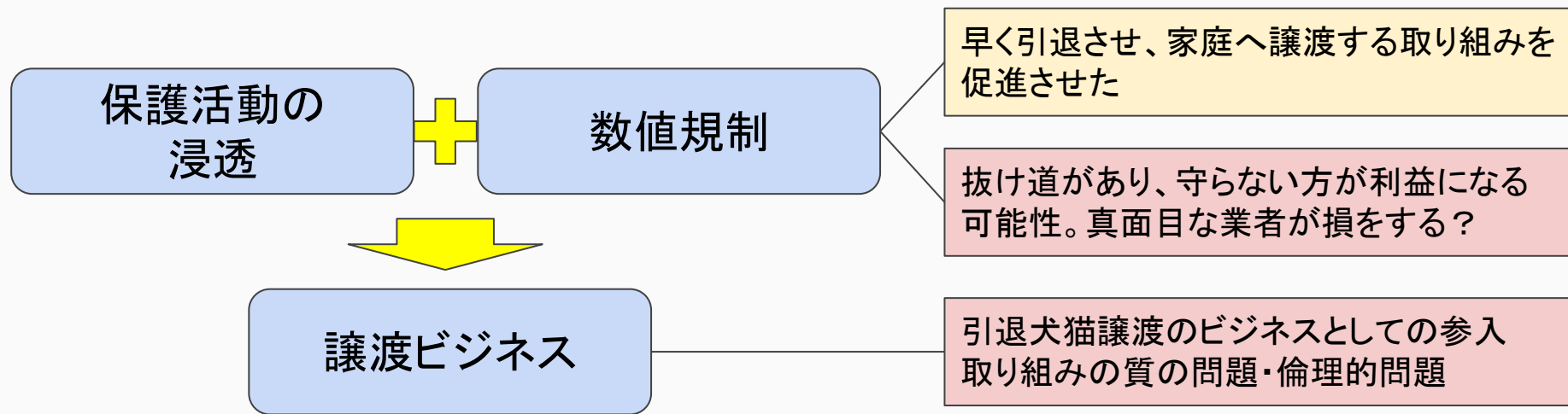
当社は身寄りのない、不幸なCAを減らすために志を同じくする動物愛護団体（NPO等）に対して、無償にてフード、ペットシーツ等の提供を行っています。また、熊本地震の災害時においては、九州ウエルネスセンターを被災したCAの一時保護施設として開放し、CA避難活動の後方支援を行いました。

### 社会福祉への協力（セラピー・ドッグの派遣）

当社は高齢者介護施設等に対して、特別な訓練を施されたワンちゃん（セラピー・ドッグ）を派遣しています。全頭小型犬種ですので、車いすやベッドの上でも寄り添うことができ、その温もりは抜群の癒し効果を与えます。アニマルセラピーは、ご入居者様の情操教育や生活の質（quality of life）の向上に貢献するべく、随時活動を行っております。セラピー・ドッグとの触れ合いは単調になりがちな生活において、普段見ることのできない笑顔をもたらします。そして、その笑顔溢れる姿を見たご家族様や施設スタッフ様までも笑顔にすることができます。

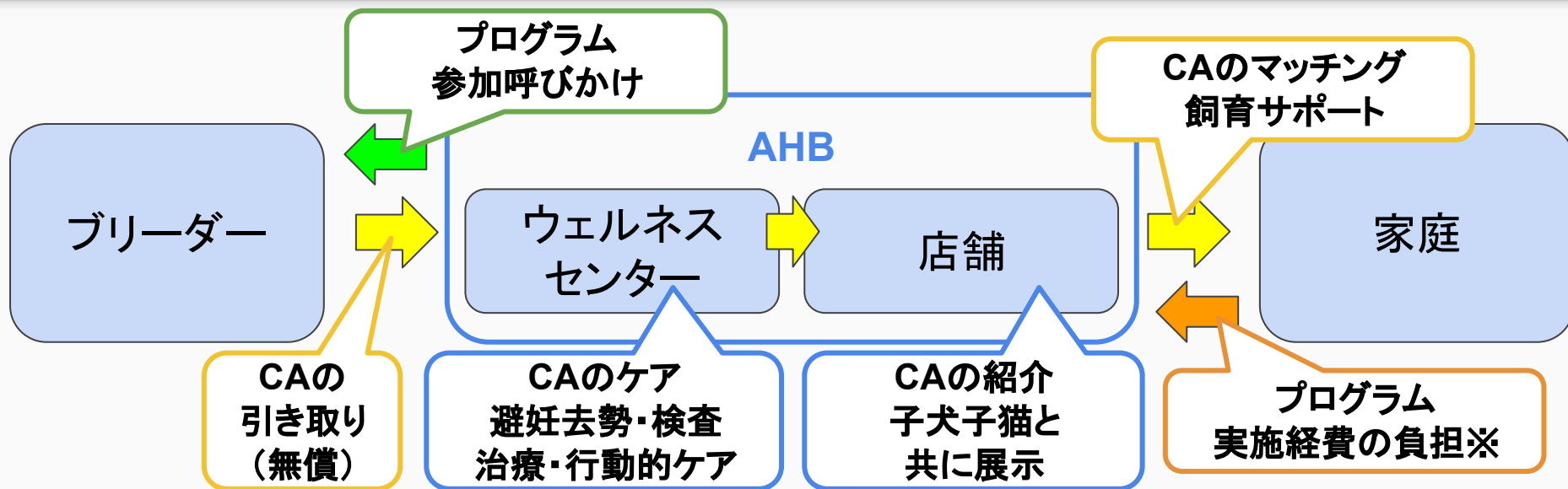


# 近年の動向・動物愛護管理法改正と 業界へのインパクト



ペット産業が、繁殖を引退した犬猫等を、家庭にマッチングすることは、**企業の当然の責任**として取り組むべき行為。**適正に動物福祉**の確保し、且つ、**適正な取り組みを行うブリーダーへの支援**となる、業界に規範を示す、**持続可能**な取り組みが必要。

# パートナードッグ & キャットプログラム 取り組みの概要



※ 企業として本プログラムを持続可能な形で実施する上では、人件費等の経費が必要なため、CAを迎えられる飼い主様にご負担をお願いする

# パートナードッグ & キャットプログラム 現在の実施状況と今後の展望

## 【現在の状況】※2020年12月14日現在

- 現在、20店舗で試験的に実施(2020年3月より段階的に開始)
- 2020年3月～12月で101頭(犬55頭/猫46頭)マッチング
- プログラム実施経費として、1頭あたり、犬98,000円/猫88,000の負担を依頼

## 【今後の展望】

- 2021年3月には、全国117店舗中、50店舗程度での実施を行う
- 各店月2.5頭×50店舗×12ヶ月＝1500頭／年(子犬子猫の5%)を目指す
- 独自シェルターの新設＋WEB活用強化＝マッチング数向上を目指す

# パートナードッグ & キャットプログラム 現在感じている、期待と懸念

## 【期待】

- 業界の基準となり、今後の業界の健全な発展に資する活動とする
- アドバイザーの皆様から得られる助言、新たな見方、パラダイムシフト
- 本プログラムの知見の、既存事業への反映
- 優良なブリーダーとのコネクションの強化
- 働く人たちのプライド・モチベーションになる活動としていくこと

## 【懸念】

- 責任としての取り組みということが理解されない「繁殖引退犬猫を使ってまで利益を上げている」と言う批判の可能性
- 譲渡後に発覚した疾病等の補償が難しい点

# アドバイザーボードに対する期待

- 社会からどう見られるか、社会とどうコミュニケーションすべきか、率直な意見をいただきたい。
- 皆様の専門的な知見から、既存の概念に囚われないブレイクスルーとなるアイデアを教授いただきたい。
- 生体販売に関する情報公開を進める契機に。
- 生体販売の在り方を変えていく、ビジネスモデルが変わる契機に。
- 理想的な未来、ビジョンを一緒に描き出していきたい。

# プログラムの基本姿勢と プログラム実施経費について

## 【プログラムに対する基本姿勢】

- 本プログラムは企業の社会的責任である
- 保護団体の行う、保護譲渡活動とは主旨が異なるため、誤解を生まぬように、社会や利用者に告知する義務がある
- 誤解を生まない工夫として、「保護犬」「保護猫」や「譲渡」という単語を極力用いない

# プログラムの基本姿勢と プログラム実施経費について

## 【プログラム実施経費について】

- CAの引き渡しの際には、利用者にプログラム実施経費の負担をお願いする（一頭あたり、犬98,000円/猫88,000円）
- 企業活動としての本プログラムを持続可能な形で運営していくために、必要最低限の費用で設定（保護活動における、個体ごとの譲渡手数料とは異なり、プログラム全体にかかる経費を按分している）

**社会は、何を懸念されていて、何を期待しているか？**